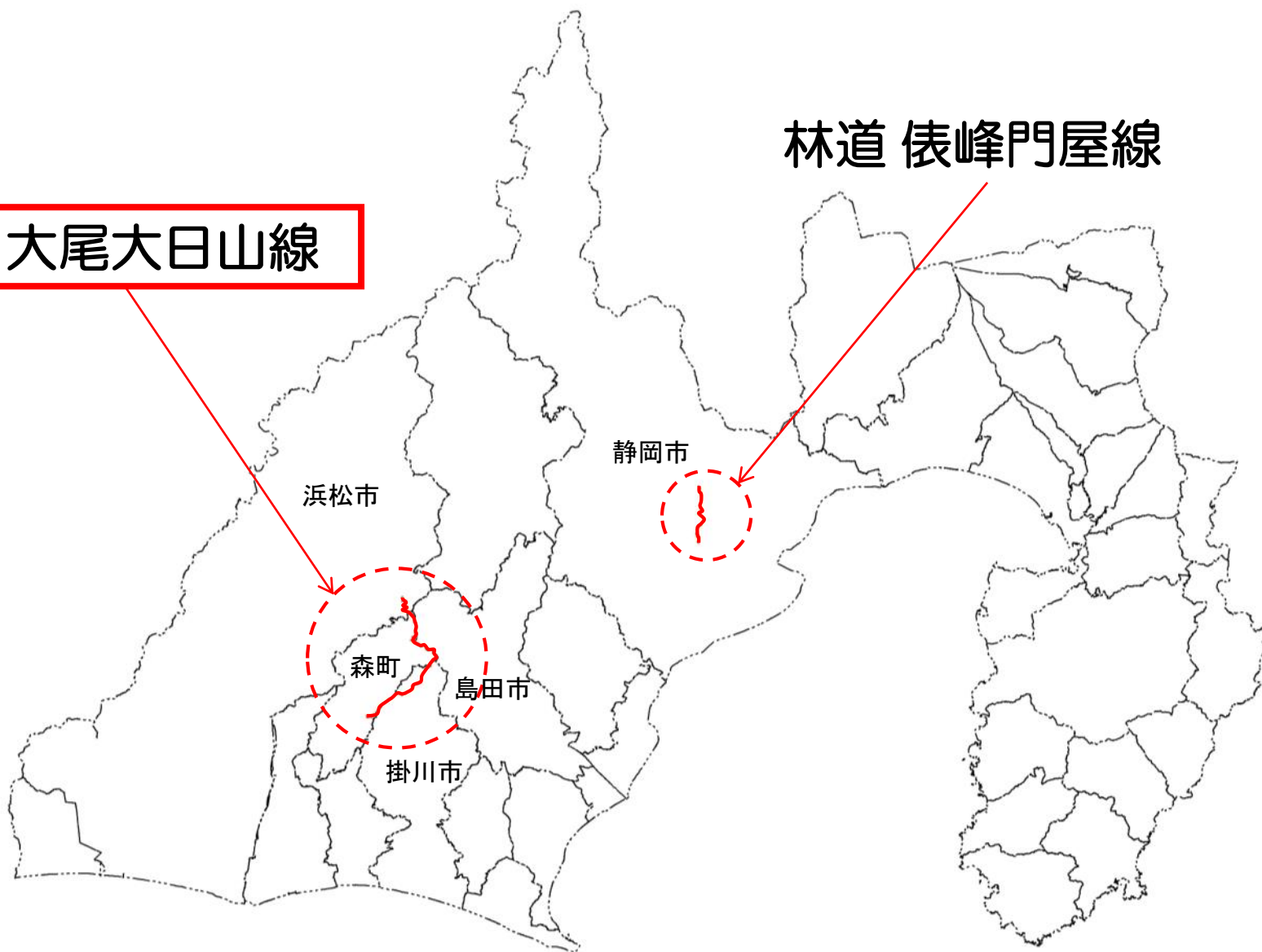


【評価対象箇所】 (再評価対象：2件)

林道 大尾大日山線

林道 俵峰門屋線



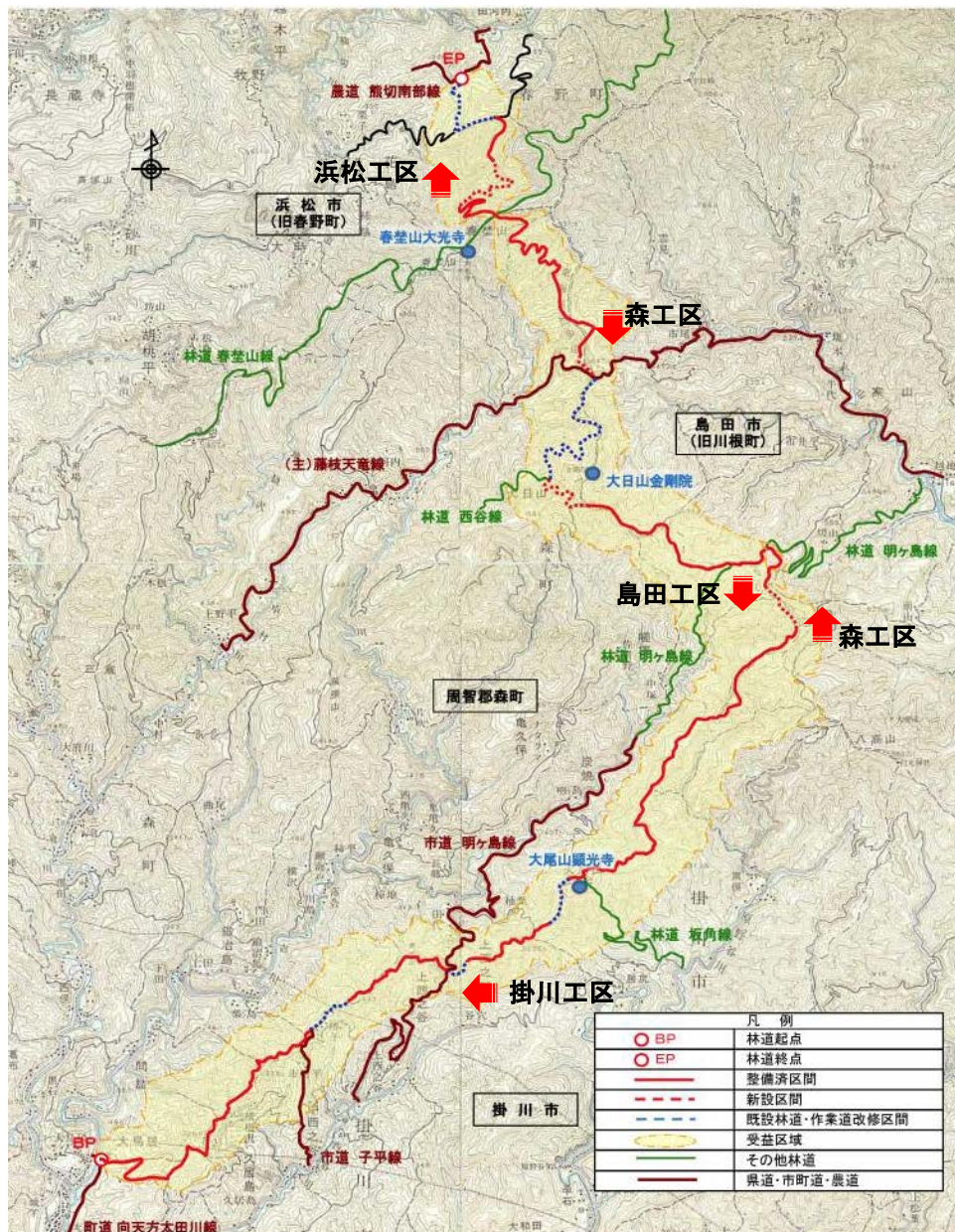
平成29年度

公共事業再評価（林道事業）

林道 大尾大日山線

経済産業部 森林・林業局 森林整備課

【事業概要】



○目的

- ①森林資源の活用
- ②森林整備の効率化

○事業内容

計画延長：34,991m
 全幅員：4.0m
 受益区域：2,113ha
 総事業費：4,950百万円
 計画期間：H9～H36



【社会経済情勢等の変化】

○ふじのくに森林・林業再生プロジェクト

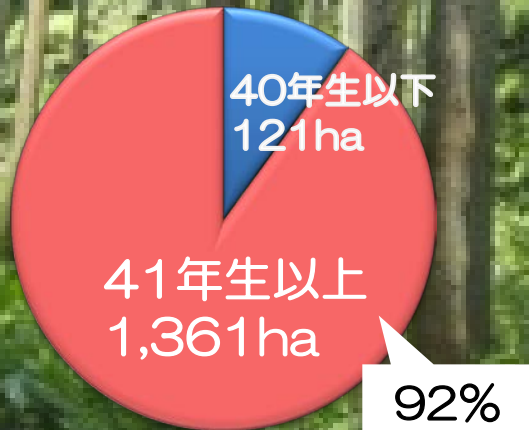


県産材生産50万m³に向けた
低コスト木材生産の構築

○森林資源の状況

受益区域：2,113ha

スギ・ヒノキ林：1,482h（70%）



充実した森林資源
の活用

○林道沿線での森林整備（H9～H28）

工事完成区間は逐次供用を開始。
森林整備・木材生産が実施されている。

【作業道整備実績】

延長 16,987m



高性能林業機械の導入

【森林整備実績】 延べ面積 (ha)

造林・保育	利用間伐	主伐	計
84.8	701.2	11.9	797.9

（森林経営計画 657ha策定）



⇒ 木材生産量 28,983m³

【事業の投資効果】

○総費用（C） 63.5億円

○総便益（B） 97.9億円

木材生産等便益	32.7億円
森林整備経費縮減等便益	65.2億円
計	97.9億円

⇒ 費用対効果分析（B/C）=1.54

（参考：前回H24評価=1.79）

【事業の進捗状況】

○急峻な地形や脆弱な地質に伴う開設単価の高騰



⇒事業費、事業期間を変更

	事業期間	全体事業費 (百万円)
変更前	H9～H34	4,000
変更計画	H9～H36	4,950

	進捗率	(平成29年度末時点)
延長	69.2%	24,236m／34,991m
事業費	72.7%	3,602百万円／4,950百万円

○今後の見込

- ・既設の林道や作業道の改築区間の実施。

⇒ 事業費が抑えられ順調に進捗し、
平成36年度に完成の見込み。

【コスト縮減の取組】

①地形に沿った路線線形の設定

⇒掘削土量・切土法面の縮減

②補強土壁工等の導入

⇒工事発生土の活用により残土量の縮減

③林道沿線での残土処理

⇒残土運搬経費の縮減&木材の集積に活用



残土処理場

林道

【関係者の意見】

聴取した意見の内容	県の考え方
<ul style="list-style-type: none">・森林管理や林業経営を行ううえで、大型車両が通行できる林道は必要不可欠であり、早期完成を要望する。・災害時の迂回路や周辺の歴史・文化的施設を連絡する道路としても効果が期待されるため、事業継続と早期完成を要望。	<ul style="list-style-type: none">・早期完成を目指して、引き続き事業を推進する。
<ul style="list-style-type: none">・完成した区間を利用しているため、降雨後の崩土除去などの定期的な維持修繕を望む。	<ul style="list-style-type: none">・林道管理者の市町と協議しながら、完成後の維持管理に配慮した設計、適切な維持管理を行う。

※平成29年3月～4月聴取（森林所有者、森林組合、市町）

【対応方針案】

◎ 事業を継続する

- 費用対効果が認められる。
- 人工林資源が充実し、早期の開通に対する地元の要望が強く、林道を利用した森林整備等が進んでいる。